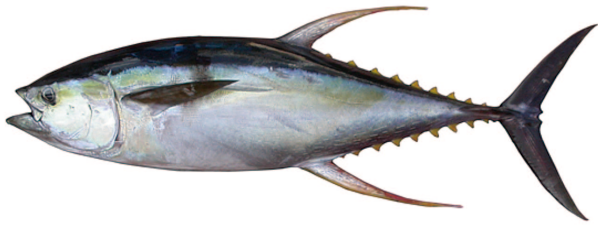


キハダ 大西洋

Yellowfin Tuna, *Thunnus albacares*



漁業の特徴

主な漁業国はフランス、スペイン、ガーナである。日本は、はえ縄でメバチを主対象として漁獲している。フランスとスペインはまき網、ガーナは竿釣りが主体である。1980年頃から、漁獲はまき網が主体となっている。漁場は熱帯域を中心に広く分布し、まき網と竿釣りではギニア湾が主漁場である。漁業は周年行われている。

管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

漁業資源の動向

大西洋におけるキハダ漁業は1950年頃に始まり、1955年頃からは竿釣り及びはえ縄が開始した。当初ははえ縄が主体であったが、60年代後半以降まき網による漁獲量が増加した。最近年は、全漁獲量のうち70%がまき網、11%が竿釣り（大部分が東部大西洋）、16%がはえ縄で漁獲されている。1980年以降、漁獲量は10～19万トンの間で変動し、2012年は10.2万トン（予備集計）であった。

最近一年間の動き

2012年の総漁獲量は10.2万トン（予備集計）で前年の93%であった。資源評価は2011年9月にICCATにより行われ、MSYは14.5（11.4～15.8）万トンと推定され、2010年の資源量はMSYレベルより小さい（ $B_{2010}/B_{MSY}=0.85$ （0.61～1.12））と見られる。また、2010年の漁獲率は、MSYレベルより小さい（ $F_{2010}/F_{MSY}=0.87$ （0.68～1.40））と推定された。資源評価の不確実性を考慮すると、乱獲状態でなく、かつ漁獲率が過剰でない可能性は低い（26%）。資源管理措置は、将来にわたる持続的利用を確実にするため引き続き総漁獲可能量（TAC）（11万トン）が設定されている。メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における浮き魚礁（FADs）を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大や、大型漁船の厳密な隻数規制の導入が決定されている。

資源状態

最新の資源評価は2011年にICCATにより行われた。MSYはASPIC（プロダクションモデル）で14.0万トン（11.4～15.0万トン）、VPA（年齢別モデル）で14.9万トン（14.0～15.8万トン）と推定され、資源評価時の最新年（2010年）の漁獲量10.8万トンを上回った。2010年の資源量はMSYレベルより小さい（ $B_{2010}/B_{MSY}=0.85$ （0.61～1.12））と見られる。最近年（2010年）の漁獲率は、MSYレベルより小さい（ $F_{2010}/F_{MSY}=0.87$ （0.68～1.40））と推定された。前回（2006年）の資源評価より悲観的な結果である。努力量の増加は、資源量を減らす危険性があり、キハダとともに漁獲される種（特にメバチ）に悪影響を与える懸念がある。

生物学的特性

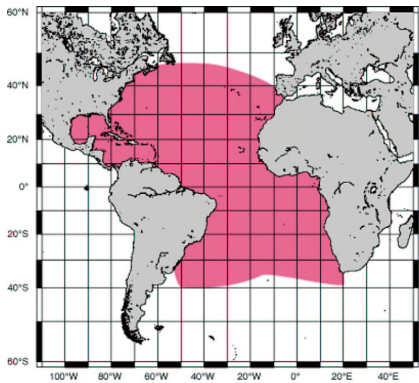
- 寿命：7～10歳
- 成熟開始年齢：3歳
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：分布域に等しい
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海産哺乳類

利用・用途

刺身、すし、缶詰など

管理方策

ICCATのRecommendation 11-01に基づき、2012～2015年までのキハダの資源管理措置が講じられている。現在、キハダの資源管理方策は「有効漁獲努力量を1992年レベルを超えないレベルに保つ」及びTAC（11万トン）である。また、メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾におけるFADsを利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大や、大型漁船の厳密な隻数規制の導入が決定されている。



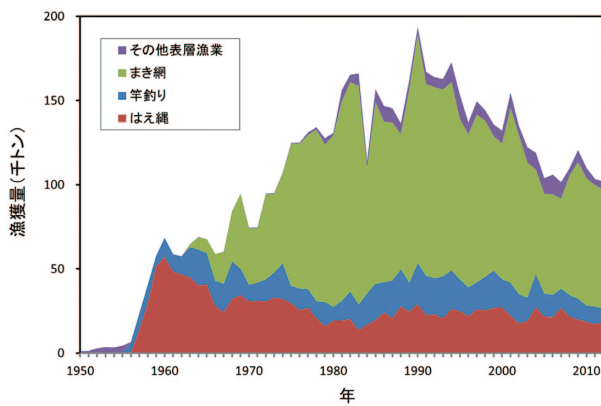
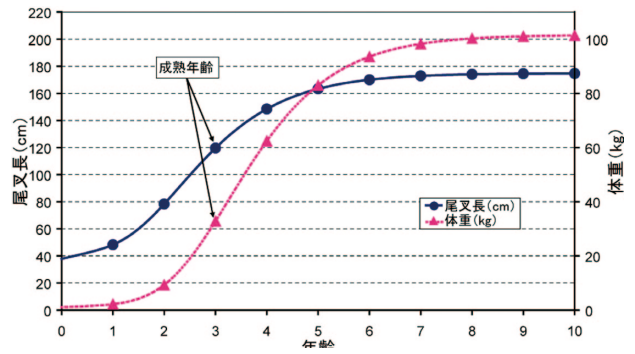
大西洋におけるキハダの分布域

資源評価まとめ

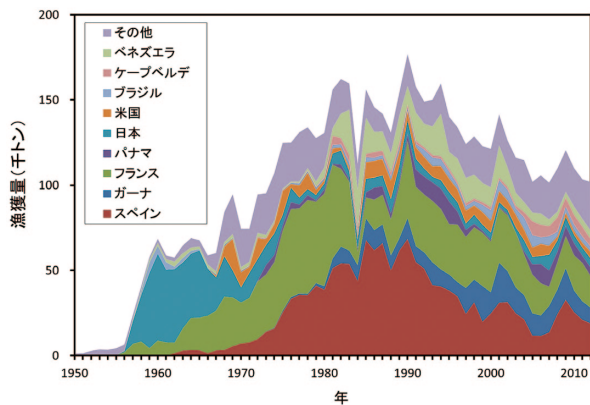
- 資源評価は ICCAT が実施
- ASPIC と VPA で資源評価を行った
- 資源は乱獲状態にあるものの、漁獲圧は高くはない

資源管理方策まとめ

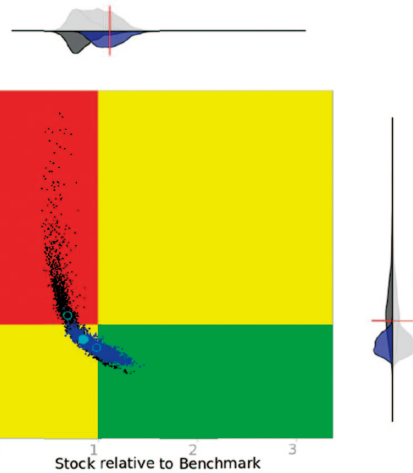
- 有効漁獲努力量は 1992 年レベルを超えないようにする (1993 年勧告)
- TAC (11 万トン) の設定
- 小型魚の保護 (FADs を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大、大型漁船の厳密な隻数規制)



大西洋におけるキハダの漁法別漁獲量の変遷



大西洋におけるキハダの国別漁獲量の変遷



プロダクションモデル及び年齢別モデルで推定した本資源の資源量とFのMSYを与える値との比

キハダ（大西洋）の資源の現況（要約表）

資源水準	中位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近5年間)	10.2～12.1万トン 平均：10.9万トン (2008～2012年)
我が国の漁獲量 (最近5年間)	0.4～0.6万トン 平均：0.5万トン (2008～2012年)